

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会 平成29年5月20日発行

No.122



(一石枥立場茶屋 撮影者:平野かほり)

今年も花の季節になりました。春、妻籠で目にする花たちの花言葉をご紹介します。
シダレザクラ：優美、モクレン：自然への愛、藤：歓迎、ツツジ：慎み、桐：高尚、
ヤマブキ：気品、スミレ：小さな幸せ、ホトケノザ：調和… 小笠原 美雪

木曽風景街道 中山道研修 2017年3月13日(月)

木曽広域連合地域振興課課長補佐 佐 口 徹

木曽風景街道推進協議会では、会員の見識を深め今後の活動に活かすため、中山道を歩いて辿る研修を行っています。平成27年度は塩尻宿から峠を越え岡谷まで歩きましたが、昨年度は3月13日(月)に岐阜県太田宿から鵜沼宿までを総勢26名で訪ねました。

太田宿西の岩屋観音から鵜沼宿東のうとう峠登り口までは道脇に木曽川がとうとうと流れ、江戸時代当時の川が荒れる時期は難所であったことが想像できました。登り口から一里塚までは山道となり、一部には石畳の歩道が整備されていました。坂を登り切った先には一里塚があり、静かな森の中の塚はかつてを偲ばせる風情が残っていました。

午後は鵜沼宿ボランティアガイドの皆様案内していただき、宿場の歴史や保全にかかる取組を研修しました。ガイドの皆様はユーモアを交えながら説明され、途中小雨に降られましたが楽しく研修ができました。なお、鵜沼宿は明治24年の濃尾地震によりほとんどの家屋が倒壊し、現存するものは一部を除き地震以後に再建したものとのことです。宿場内には現代的な住宅がところどころ目につき、エリア全体にかかる景観保全の難しさを感じられました。

中山道を歩き他の地域を知ってあらためて気づくことですが、古き時代をエリア全体で感じさせる木曽の宿場及び街道は大変貴重な財産であり、地域をあげてその保全の必要性を感じました。

当協議会では今後も中山道研修を実施する予定です。皆様のご参加をお待ちしております。



第41回妻籠冬期大学講座 2017. 2. 4(土)

蘭 八 橋 正 道

自然豊かなこの土地に東京から24年前に来ました。家族4人それぞれも共にこの自然を共有できたと思っています。

さて、本題に入って大住克博先生のお話は、温帯性針葉樹の話。木材資源でなく、その自然としての価値がもう一つあるという導入から話が始まった。造林・大工の仕事の経験もあり、私は先生の話を楽しく聞いた。特に日本列島を含む東アジアは、温帯域としては極めて樹木種の多様性が高く、世界で最も針葉樹の種が多い地域です。日本には45種の針葉樹があり、その内20種ぐらいが木曽谷にある。何故、このように東アジアに古温帯性針葉樹帯が残ったか。大住先生によると、2億年前の大陸移動でパンゲアの一部がユーラシア大陸にぶつかり今のインドを形成する過程でヒマラヤ山脈、長さ2,400km、8,000m峰10座ある、世界の屋根が、北半球の北東貿易風の風の流れを変えたことにより、同じ中緯度地域の中でも東アジアだけ特別な温帯性針葉樹林帯が現在に残った。ヒノキは、建築材として古く縄文晩期から使われ、特に8～11世紀に多く使われたという。植林技術もなく、せいぜい天然の苗を植えて育てていたらしいので、再生産のシステムはなく、伐採し使われた分減少していったのが歴史的事実だった。今、木曽の温帯性針葉樹林を元の姿に戻す大プロジェクトが始まろうとしている。この大切な自然を子々孫々に残すことが、今生きている人間の責任と思う。

近代化、技術革新と進んできた私たち、ふと立ち止まって未来を考えなくてはならない時期だ。大変貴重なお話を聞くことができました。冬期大学をこれからも続けてください。応援します。



〈大住克博氏〉



寺下 伊 藤 伸 三

第1部は、「木曽ヒノキの持つ世界的な価値」と「木曽悠久の森」の演題で、鳥取大学教授、大住克博氏の講演でした。要点は、ヒノキは加工しやすく耐久性に優れ、奈良時代から仏閣などに使われたが、当時は近畿・関西地方には平地にも大径木の天然林があった。ヒノキの天然林とは500年以上成長したものだ。しかし、戦乱の世が続き、戦後の動乱などで切り尽くされ「ヒノキの天然林」は消滅に向かっている。このような中、この度、林野庁が『木曽悠久の森』プロジェクトを立ち上げた。それは、「ヒノキやサワラなどを含む温帯性針葉樹林がまとまって成育する、世界的にも貴重な森林を保存・復元し、遺伝資産と豊かな森林生態系を守り、その恩恵を将来にわたり維持すること」を目指すものだ。エリアは木曽郡と中津川市にまたがる1万7千haとなっている。…また、温帯性の針葉樹林帯は1千年も前の面影を残す森林といえる。それが日本、特に木曽に残されていることは、大変貴重な存在である。以上のようなお話でしたが、木曽の山や森林の価値について、広く語っていくことや、身近に触れることのできる男垂国有林も新たな光を当ててみてはどうかと思いました。

第2部は、「馬籠峠に生息するヒダサンショウウオの生態」の演題で、小椋吉範氏の講演でした。「南木曽町のアンコ沢を地元の皆さんと調査した。サンショウウオのことをアンコと呼ぶことが確認されている。この沢に多数生息していたことが伺える。実際にも幼生の採集ができた。」また、カエルの生態についても説明され、たいへん貴重なお話でした。世界のサンショウウオの30%が日本に生息していること、日本は世界に比べ、山や川など自然環境が豊かであることと、このような貴重な生態系を守ることの大切さを教えられました。



〈小椋吉範氏〉



妻籠宿氷雪の灯まつり 2017. 2. 11

豊川市 渡 邊 友 美

待ちに待った妻籠宿のアイスキャンドル。昨年は行けなかったので今年こそは!との思いで雪の降る2月11日、わくわくしながら南木曽町へ向かいました。

アイスキャンドルを実際に見ることも初めてだった私ですが、アイスキャンドル作りにも参加させていただきました。器に入った氷に穴を開け、熱湯をかけて器から氷を取り出し、氷を削る、出来上がった氷を妻籠宿へ運び、宿場内に並べる、作業をしている間、どんな光景になるのだろうと期待に胸が膨らんでいきました。

まだうっすら空が明るい夕暮れ時、アイスキャンドルに火が灯りました。ほわんとした小さな灯りです。夜になり空が暗くなりだすと、さっきまでの小さな灯りが、徐々に氷の器全体を光輝かせ、存在感を増していきました。

夜の静寂に包まれた妻籠宿、アイスキャンドル、そして降り積もった雪、無駄な物は何もなく、ずっと私を幻想の世界へ連れていってくれました。ただ綺麗なだけでなく、寒い冬の中で見る人の心を温かく癒してくれる場所がそこにありました。私は風情ある落ち着いた雰囲気妻籠宿が好きです。今回は、また一段とその魅力を感じる体験ができました。



〈案内所の中の光景〉



〈氷つくり：木曽町にて〉



妻籠宿ふれあい館のおひな様

妻籠観光協会女性部長 吉村 さつき

以前よりひな人形の飾りつけをもっと拡大したいとの思いがありましたが、保存が始まって50周年という節目の年でもあり、実行することにしました。気心知れたおかみさんたちがみんなで思案しながら飾りつけしている光景からは、お客様に喜んでもらいたいという心意気を感じられました。

口伝えにより人形の提供を呼びかけたところ、町内外の方々から多くの人形が集まり、感謝しております。それに加え、三石建築さんの御厚意で作っていただいた階段が、段飾りをより華やかなものにしてくれました。見てくださったお客様からは、「きれいだね」「すごいね」等々反響が大きかったようです。早春の妻籠宿を訪れてくださったお客様にとっては、華やかで見ていて面白いひな人形飾りは、旅の良い思い出となったのではないのでしょうか。そして、ひな人形を眺めながら、女性部員のひな祭りを行えたことを嬉しく思いました。

これからも、こうした季節の行事を繋いでいくことで、おもてなしをしていけるよう、地道に活動していきたいと思います。

女性部員のみなさんお疲れ様でした。



〈五月人形展示中！ 6月5日まで〉



平成29年度 (公財) 妻籠を愛する会事業計画

1. 妻籠宿保存のための調査・研究・指導・援助に関する事業

- (1) 現状変更行為申請受付事務及び指導・援助
- (2) 月例統制委員会の開催と申請事項の審議
- (3) 統制委員会の研修
- (4) 当年度建築物保存修理修景計画への参画
- (5) 空き家に関する調査・研究・道標等の製作・講習会の実施
- (6) 防災施設の点検・修理計画の推進
- (7) 防災訓練の実施(文化財防火デーほか)
- (8) 全国町並みゼミ(有松大会)等研修会への各役職員の参加・参画

2. 建造物の保存及び景観を守るために必要な維持管理・環境保全事業

- (1) 「立場茶屋」建物の維持管理・活用・通年開放及び周辺耕作地管理
- (2) 「白木改番所」の史跡公園整備
- (3) 中山道沿線の景観整備・松枯れ対応
- (4) 「尾又屋」「まつや」「旧田原家」の維持管理・活用
- (5) 板葺き石置き屋根の保存技能の継承
- (6) 空き家所有者の維持管理委託及び改修の推進

3. 文化財の公開に必要な諸施設の設置と、その維持管理に関する事業

- (1) 「ふれあい館」の管理運営
- (2) 「四阿」(妻籠城址・白木改番所)の維持管理
- (3) 休息施設(ベンチ等)の維持補充
- (4) ホームページ等による保存事業の情報発信
- (5) 道標・説明板の見直しと更新
- (6) 民俗資料の収集・公開・活用

4. 文化の向上を図るための調査・普及に関する事業

- (1) 広報「妻籠宿」・事務局便りの発行配布
- (2) 第50回「文化文政風俗絵巻之行列」の実施
- (3) 「妻籠冬期大学講座」の主催と勉強会の支援
- (4) 妻籠宿案内人の会への支援・育成
- (5) 古い時代の衣装の保存・収集・活用・着付け教室の実施
- (6) 妻籠及び木曽に相応した文化の伝承と開発・研究

5. 文化財と一体をなす自然環境の保護に関する事業

- (1) 保有山林地の維持管理(スナジ・西山・尾又)
- (2) 休耕地の景観整備
- (3) 重伝建地域の桜・ミツバツツジ等の花木の保護・植栽・育成と景観整備
- (4) 妻籠城址の環境整備
- (5) 外来動植物の駆除

6. 重要伝統的建造物群保存地区内において公開に必要とする事業の受託

- (1) 町営駐車場管理事業
- (2) 旧妻籠小学校の管理
- (3) 妻籠観光協会事務事業

7. 関係機関、連携団体との集落保存、自然環境の保護、地域づくりに関する事業

- (1) 木曽風景街道推進協議会・木曽ユネスコ協会との協働活動
- (2) 木曽街道連絡会の事業の推進
- (3) 関係団体との交流
- (4) 国土交通省エクスカーション活動参加

8. 前号までに掲げるもののほか、前号までの目的を達成するために必要な事業

- (1) 中央駐車場の経営及び環境整備
- (2) 取得資産の有効活用
- (3) 妻籠宿保存50周年記念事業の実施

第4回信州おもてなし大賞受賞!

半世紀にわたる景観保存の活動の中で、特に次の2点について認められました。一つは、近年増加している海外からの観光客に対応した、道標・説明板等の和英併記、トイレの洋式化等の環境整備。もう一つは、「一石枒立場茶屋」を通年開放し、無料休憩所として馬籠峠を歩く旅人に湯茶などのおもてなしを行っていることです。

3月23日に長野市で阿部知事から表彰状をいただきました。



宿 場 暦

- 2月 2日：観光ボランティアガイド関東圏大会
 4日：第41回妻籠冬期大学講座(58名聴講)
 8日：「都会の人が思う木曽の魅力とは」講演会
 10日：氷雪の灯まつり準備(氷つくり2名)
 11日：氷雪の灯まつり(木曽町へ6名)
 14日：日本遺産「木曽地域」シンポジウム
 (木曽町・理事長、常務)
 16日：日本ナショナルトラスト常任理事会(東京)
 19日：平成28年度第4回観光地点パラメータ調査
 20日：統制委員会、広報「妻籠宿」121号発行、
 観協役員会
 22日：保存50周年記念特別委員会
 24日：木曽風景街道推進協議会下見(常務)
 25日：妻籠宿案内人の会世話人会・学習会
 28日：インバウンド講習会(合庁)
- 3月 2日：信越放送撮影
 3日：テレビ東京撮影
 4日：日本ナショナルトラスト理事会(東京・常務)
 6日：観協会計監査
 7日：元気づくり支援金ヒアリング、観協役員会
 10日：長野朝日放送撮影
 12日：宮澤智士先生傘寿・出版祝賀会(東京)
 13日：木曽風景街道推進協議会中山道研修
 (7名参加)
 15日：観協総会
 21日：統制委員会、季刊誌会議
 22日：一石栃立場茶屋障子張替作業、妻籠地域
 振興協議会(理事長)
 23日：広域プロジェクト会議、県おもてなし大賞
 授賞式(長野市・理事長、常務)
 24日：理事会
 27日：広報部会、南木曽町博物館協議会
 29日：評議員会
 30日：妻籠宿保存地区保存審議会、
 記念誌委員会
- 4月 1日：駐車場臨時職員辞令交付
 3日：倉科様祭礼(理事長・常務)
 10日：観協役員会
 13日：理事・評議員合同報告会
 15日：子安観音祭礼
 20日：統制委員会
 25日：会計監査、広報部会
 26日：木曽地域文化遺産活性化協議会活性化委
 員会(合庁・常務)、
 木曽地域懇談会(合庁・理事長)
 27日：木曽風景街道推進協議会役員会
 28日：妻籠宿案内人の会総会



〈4月15日子安観音祭礼〉

統制委員会審議事項

- 2月20日
 ・農業用ため池防災工事(町:恋野) 1件
 ・城山町有林整備(町:支障木伐採) 1件
 ・水車撤去・新設(町:下町) 1件
 ・群状択伐(関電:馬籠峠) 2件
 ・さしかけ設置(下町) 1件
 ・1月保留分協議 1件
- 3月21日
 ・群状択伐(関電:馬籠峠) 3件
 ・NTT携帯電話基地局整備工事(吾妻橋) 1件
 ・仮設現場事務所新築(恋野) 1件
 ・土蔵修繕(中町) 1件
- 4月20日
 ・平成28年度復旧治山事業第22号工事(県:細野山) 1件
 ・低圧引込線新設(中電:細野山) 1件
 ・現場事務所設置(大宗土建:細野山) 1件
 ・電灯引込線新設(中電:橋場) 1件
 ・筍伐採(関電:妻籠地区内) 1件
 ・宅地造成及び進入路整備(渡島) 1件



発行:公益財団法人妻籠を愛する会
 〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻2159-2
 TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

妻籠分館文化祭 平成29年3月18日(土)

広報部 木村 和 恵

文化祭が、3月18日(土)に妻籠分館ホールにて行われました。保育園児や小学生の子どもたちによる歌や踊りをはじめ、下町の女性方はコーラスで美しい歌声を聞かせてくれました。

私も恋野一座の一員として参加し、今年は寸劇をやりました。約1ヵ月半前に脚本が出来上がり、それから週2回のペースで集会所に集まりダンスの練習や、台本の読み合わせ、演技の稽古をやって来ました。テンポの早いダンスは練習ではなかなかうまく行かず、心配しましたが、本番ではバッチリ一番の出来でした。中心メンバーの年齢が上がって、年々大道具等を作るズクがなくなってきました。そんな中、今年は若くて元気な新メンバーが加入しました。

皆で集まりワイワイやっている時間は本当に楽しいです。そして、何でもいから参加し続けていくことが大事だと思っています。



平成29年度 妻籠分館行事日程表

年	月 日	曜日	行 事 内 容	場 所
29年	4月16日	日	全体会議	妻籠分館会議室
	7月	日	分館清掃(祭り準備日に合わせて)	妻籠分館内外
	7月23日	日	和智埜大祭子ども神輿・夜警	妻籠地区内
	7月24日	月	和智埜大祭夜警	
	8月 6日	日	育成部行事:納涼祭(バーベキュー、花火等:予備日20日)	旧妻籠小学校体育館
	9月第二	日	敬老会お手伝い	南木曽会館
	9月17日	日	旧妻籠小学校校庭整備	旧妻籠小学校校庭
	10月 7日	土	区民運動会準備	旧妻籠小学校校庭
	10月 8日	日	区民運動会(予備日:なし、雨天:体育館)	旧妻籠小学校校庭
	11月12日	日	木曽郡公民館大会	
30年	12月17日	日	しめ縄講習会	妻籠分館ホール
	2月 4日	日	南木曽町公民館大会	南木曽会館
	2月25日	日	分館交流スポーツ大会	社会体育館
	3月 2日	金	文化祭の準備	妻籠分館ホール
	3月 3日	土	文化祭	妻籠分館ホール
	3月25日	日	年度末役員反省会	妻籠分館日本間

- * そば打ち講習会 月2回 ☆ 軽音楽研究会 通年
- * ソフトバレーボール 週2回 ☆ 環境整備 適時
- * 二胡教室 月2回

※各団体への参加希望につきましては、分館主事までお気軽にお問い合わせください。

【分館長:鈴木竜行、主事:三浦順明】